

薬剤部からのお知らせ 2019 No.15



2019年6月7日発行

医薬品の採用・中止・変更について —2019年6月6日薬事委員会結果報告—

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
イフェクサーSR カプセル 37.5mg (ベンラファキシン塩酸塩)	抗うつ剤 (SNRI)
エリキュース錠 5mg (アピキサバン)	経口 FXa 阻害剤
ジャディアンス錠 10mg (エンパグリフロジン)	血糖降下剤 (SGLT2 阻害剤)
ルセフィ錠 2.5mg (ルセオグリフロジン水和物)	血糖降下剤 (SGLT2 阻害剤)
オラビ錠口腔用 50mg (ミコナゾール)	口腔咽頭カンジダ症治療剤
フェントステープ 0.5mg (フェンタニルクエン酸塩)	経皮吸収型 持続性疼痛治療剤
ゴナックス皮下注用 240mg (デガレリクス酢酸塩)	前立腺癌治療剤

⇒ 2019年6月18日より処方開始の予定です。

②製剤変更医薬品

変更前医薬品名 ⇒ 変更後医薬品名	薬品分類
シダトレンスギ花粉舌下液 200JAU/mL ボトル・同 2,000JAU/mL ボトル ⇒ シダキュアスギ花粉舌下錠 2,000JAU	スギ花粉症 減感作療法剤
プレセデックス静注液 200μg/50mL シリンジ「ファイザー」 ⇒ デクスメデトミジン静注液 200μg/50mL シリンジ「ニプロ」	α ₂ 作動性鎮静剤

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

③院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アカルボース錠 50mg 「ファイザー」	血糖降下剤
アズクレニン S 配合顆粒 (アズレンスルホン酸ナトリウム水和物、L-グルタミン)	消炎性抗潰瘍剤
サイトテック錠 200 (ミソプロストール)	抗 NSAID 潰瘍剤
スターシス錠 90mg (ナテグリニド)	速効型食後血糖降下剤
セバゾン錠 2mg (クロキサゾラム)	ベンゾジアゼピン系抗不安剤
セレネース錠 0.75mg (ハロペリドール)	抗精神病剤
マイコスポールクリーム 1% (ビホナゾール)	外用抗真菌剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第中止とします。

④院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
アクトス錠 30mg (ピオグリタゾン)	血糖降下剤
アリセプト D 錠 3mg (ドネペジル塩酸塩)	認知症治療剤
グルコバイ錠 100mg (アカルボース)	血糖降下剤
ゲンボイヤ配合剤 (エルビテグラビル、コビススタット、エムトリシタビン、テノホビルアラフェナミドフマル酸塩)	HIV 治療剤
シダトレンスギ花粉舌下液 2,000JAU/mL パック (標準化スギ花粉エキス)	スギ花粉症 減感作療法剤
プロスターール錠 25mg (クロルマジノン酢酸エステル)	前立腺肥大症・癌治療剤
ローコール錠 30mg (フルバスタチンナトリウム)	HMG-CoA 還元酵素阻害剤

⇒ 在庫がなくなり次第中止としますが、最終を 2019 年 9 月 30 日とします。

⑤販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	(外)：院外専用医薬品	薬品分類
インプロメン錠 3mg (ブロムペリドール) ^(外)		精神神経安定剤
インプロメン細粒 1% (ブロムペリドール) ^(外)		精神神経安定剤
ミロル点眼液 0.5% (レボブノロール塩酸塩) ^(外)		持続性 緑内障・高眼圧症治療剤

⇒ 在庫がなくなり次第中止とします。

【院内新規試用医薬品】

(ベンラファキシン塩酸塩)

▶イフェクサーSR カプセル 37.5mg (劇)

Effexor SR 37.5mg/Cp [ファイザー]

〔薬価〕148.9 円/Cp

【効】うつ病・うつ状態

【用】(内) 1 日 37.5mg を初期用量とし、1 週間より 1 日 75mg を 1 日 1 回食後に投与する。年齢、症状に応じ 1 日 225mg を超えない範囲で適宜増減するが、増量は 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 75mg ずつ行うこと。

(アピキサバン)

▶エリキュース錠 5mg

Eliquis 5mg/錠 [ファイザー]

〔薬価〕257.2 円/錠

【効】①非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制

②静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制

【用】(内) ①1 回 5mg を 1 日 2 回投与する。年齢、体重、腎機能に応じて、1 回 2.5mg、1 日 2 回投与へ減量する。

②1 回 10mg を 1 日 2 回、7 日間投与した後、1 回 5mg を 1 日 2 回投与する。

(エンパグリフロジン)

▶ジャディアンス錠 10mg

Jardiance 10mg/錠 [イーライリリー]

〔薬価〕198.7 円/錠

【効】2 型糖尿病

【用】(内) 10mg を 1 日 1 回朝食前又は朝食後に投与する。効果不十分な場合には、25mg1 日 1 回に増量することができる。

(ルセオグリフロジン水和物)

▶ルセフィ錠 2.5mg

Lusefi 2.5mg/錠

[大正]

〔薬価〕189 円/錠

【効】2 型糖尿病

【用】(内) 2.5mg を 1 日 1 回朝食前又は朝食後に投与する。効果不十分な場合には、5mg1 日 1 回に増量することができる。

(ミコナゾール)

▶オラビ錠口腔用 50mg

Oravi 50mg/錠

[富士フイルム]

〔薬価〕1,181.7 円/錠

【効】カンジダ属による口腔咽頭カンジダ症

【用】(外) 1 回 1 錠を 1 日 1 回、上顎歯肉(犬歯窩)に付着して用いる。

(フェンタニルクエン酸塩)

▶フェントステープ 0.5mg (麻)

Fentos 0.5mg/5cm²/枚

[協和キリン]

〔薬価〕303.8 円/枚

【効】非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛(ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る): 中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛、中等度から高度の慢性疼痛

【用】(外) オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1 日(約 24 時間)毎に貼り替えて使用する。初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、0.5mg、1mg、2mg、4mg、6mg のいずれかの用量を選択する。

(デガレリクス酢酸塩)

▶ゴナックス皮下注用 240mg

㊞

Gonax 240mg/V

〔アステラス〕

〔薬価〕34,850 円/V

【効】前立腺癌

【用】(注)初回は 240mg を 1 カ所あたり 120mg ずつ腹部 2 カ所に皮下投与する。2 回目以降は、初回投与 4 週間後より、維持用量を投与する。4 週間間隔で投与を繰り返す場合は、80mg を維持用量とし、腹部 1 カ所に皮下投与する。12 週間間隔で投与を繰り返す場合は、480mg を維持用量とし、1 カ所あたり 240mg ずつ腹部 2 カ所に皮下投与する。

初回投与：1 カ所あたり、本剤 120mg バイアルに日本薬局方注射用水 3.0mL を注入し、溶解後速やかに 3.0mL を皮下投与する。(3.0mL で溶解することにより、40mg/mL となる。)

維持用量を 4 週間間隔で投与する場合：本剤 80mg バイアルに日本薬局方注射用水 4.2mL を注入し、溶解後速やかに 4.0mL を皮下投与する。(4.2mL で溶解することにより、20mg/mL となる。)

維持用量を 12 週間間隔で投与する場合：1 カ所あたり、本剤 240mg バイアルに注射用水 4.2mL を注入し、溶解後速やかに 4.0mL を皮下投与する。(4.2mL で溶解することにより、60mg/mL となる。)

【製剤変更医薬品】

(スギ花粉エキス)

▶シダキュアスギ花粉舌下錠 2,000JAU

Cedarcure 2,000JAU/錠

〔鳥居〕

〔薬価〕57.7 円/錠

【効】スギ花粉症(減感作療法)

【用】(外)投与開始後 1 週間は、2,000JAU を 1 日 1 回 1 錠、投与 2 週目以降は、5,000JAU を 1 日 1 回 1 錠、舌下にて 1 分間保持した後、飲み込む。その後 5 分間は、うがいや飲食を控える。

(デクスメドミジン塩酸塩)

▶デクスメドミジン静注液 200μg/50mL シリンジ「ニプロ」 ㊞

Dexmedetomidine 200μg/50mL/本

〔ニプロ〕

〔薬価〕2,223 円/本

【効】①集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静②局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静

【用】(注)①6μg/kg/時の投与速度で 10 分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として 0.2～0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。維持投与から開始することもできる。患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。
②6μg/kg/時の投与速度で 10 分間静脈内へ持続注入し(初期負荷投与)、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として 0.2～0.7μg/kg/時の範囲で持続注入する(維持投与)。患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。